



# 一人ひとりのアイデンティティ 多様性が活かされる社会へ

～幼児教育から始まる～

仁慈保幼稚園  
妹尾正教

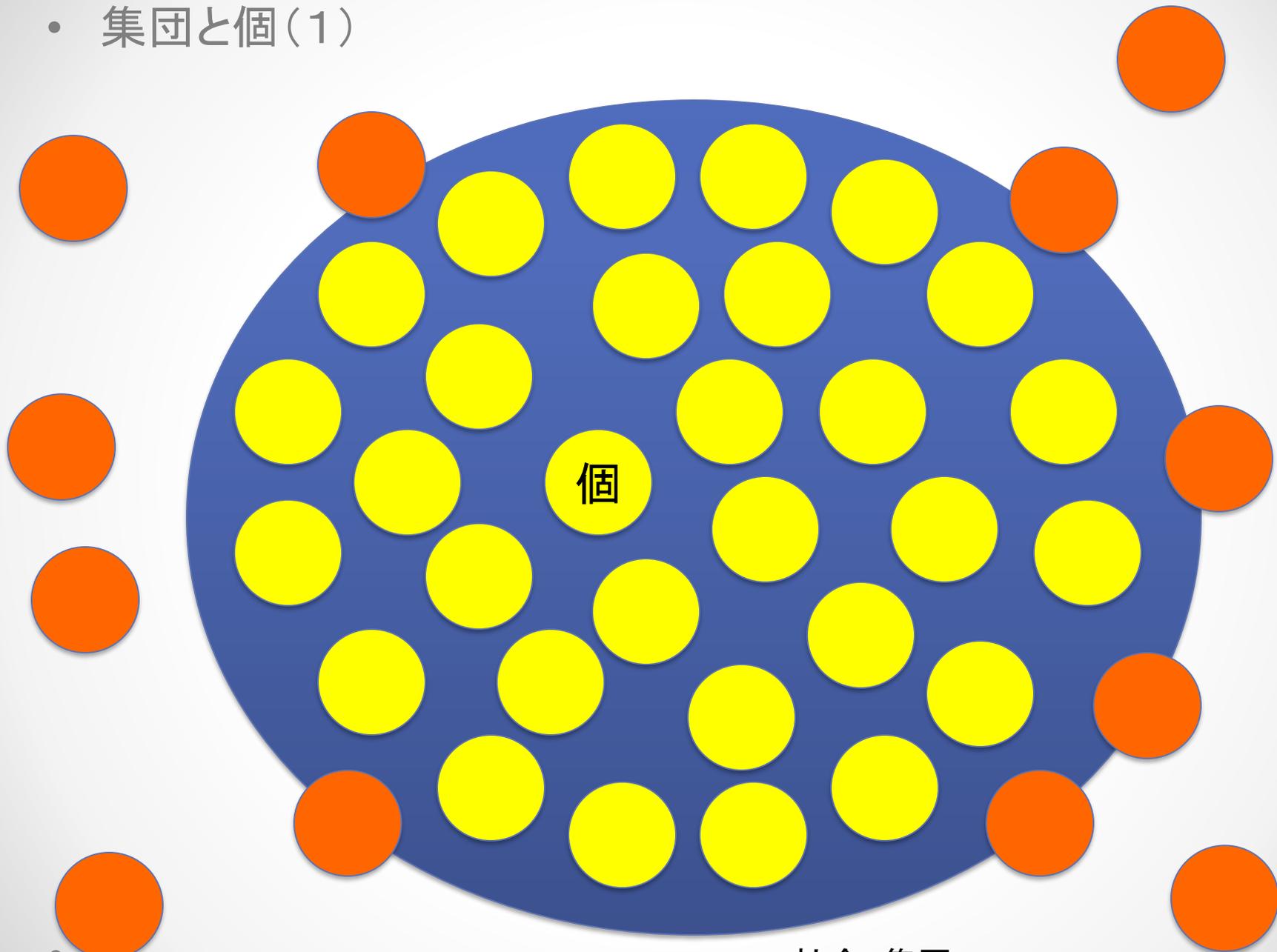


昭和8年(1933年)

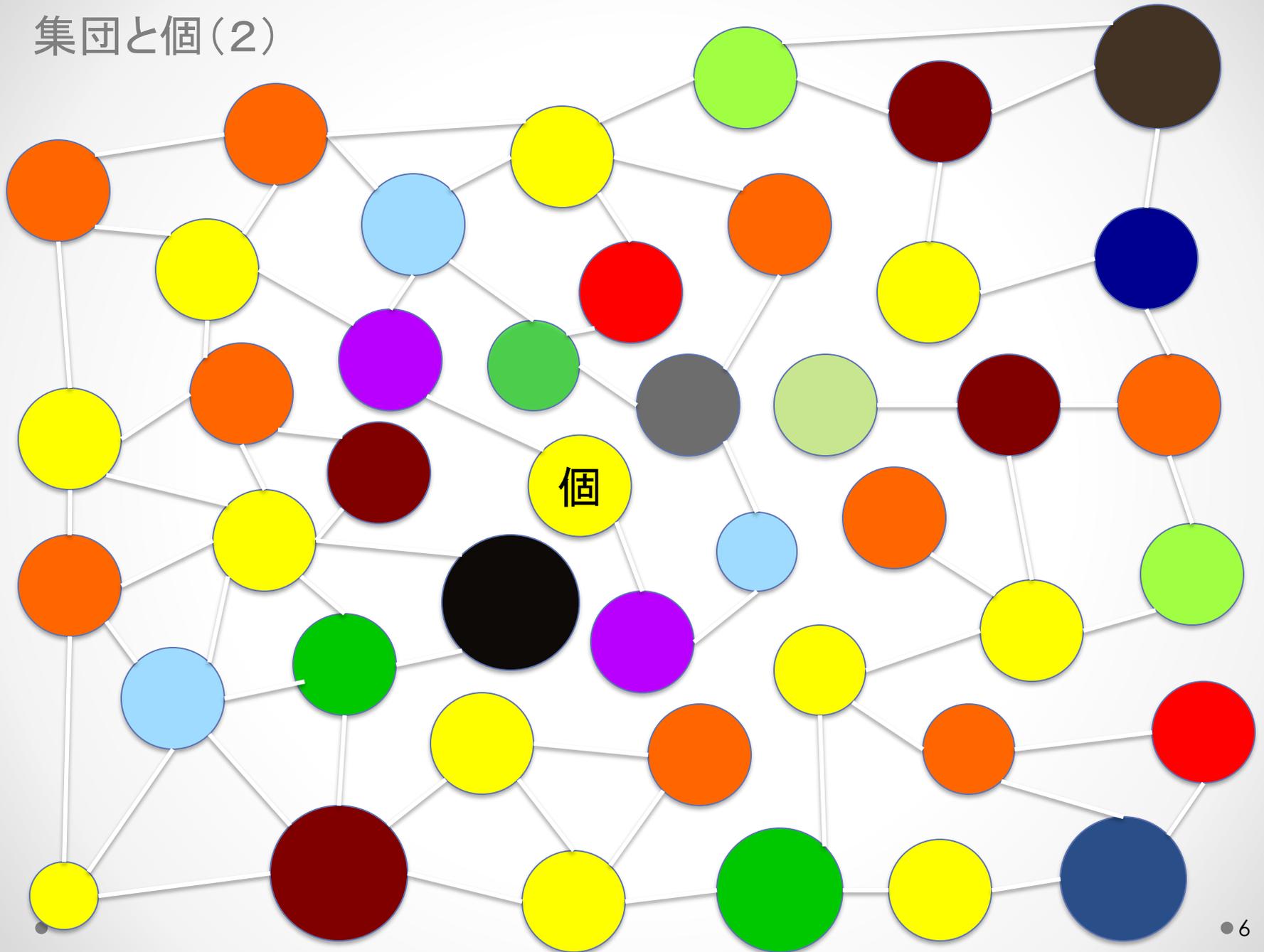
- 平成14年度より、保育を180度変えた

- 全員で同じ事をおこない、同じ目標
- 保育者の指示命令
- 自分で考えさせない
- 管理的考え方

- 集団と個(1)



# 集団と個(2)



# 幼児教育から40～50年後の社会へ

- 方法論を論じる前に、「哲学」と「議論」が必要  
理念・哲学を言葉にして共有する（法人・園長）
- How to にしない（方法論ばかり、正解を探す）  
「何が正解ですか？」  
「どうしたら正しいのですか？」  
「どういう方法だったら良いのですか？」
- どのような社会を目指すのか。教育が直結している。
- 「個の充実」という視点、特に「主体であること」の自覚と能力
- 保育室・教室を開く！市民になる力を育てる。民主的社会的担い手「シティズンシップ教育」を考える
  - 自分の意見を言えることが大事という感覚
  - 異なる意見と積極的に調整する力
  - 異なることを豊かと感じる感性の涵養。
  - 決めたこと、わかったことは実践する感覚等。
  - コミュニティへの主体的な帰属感覚。
- より良い実践は、子どもを中心とした試行錯誤の中から生まれる

# 子どもに何を願っているのか？

○自分の足でしっかりと立って、人生を歩んで欲しい

○自らがつかみ取る

○主体性とは

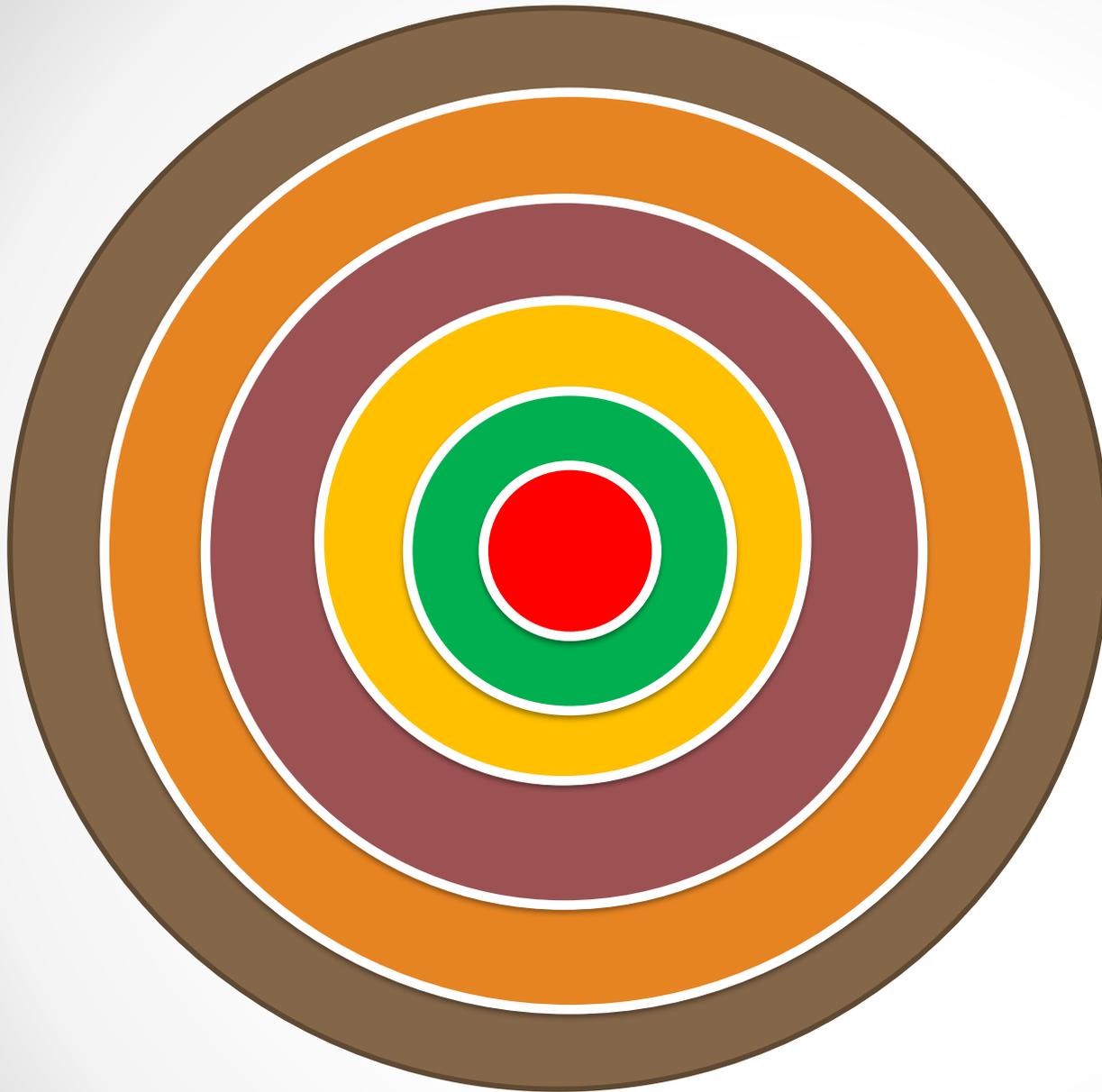
五感を使った様々な経験を豊かにし、自らの経験を元に表現を行う。自ら考え判断し、自分で物事の意味を考えながら生きる。

(豊かな経験、多様な文化・地域・自然と関わる)

○【学びの芽】を育てる (プロジェクト・アプローチ)

知るって面白い、探求するって面白い、人と対話をしながら生み出すって面白い

○文化・環境の中で育つ



その人の規範となる  
価値観

五感を通じた体験

+

心が揺さぶられる

## ※シチズンシップとは

- 市民性
- 子どもたちが将来市民としての十分な役割を果たせるよう、近年欧米諸国では「シチズンシップ教育が」導入されている。
- 生まれながらにして、子どもを市民としてみること  
(20歳から社会人ではない)
- OECDの次の目標は、0歳からの市民教育
- 民主的・多様な社会を目指す

# 大人と子どものベクトル(向いている方向)の違い

これで人は育つのか→モヤモヤ

詰め込み 知識の伝達

教育とは？



# 「匂い」から広がる興味の世界



このお花良い  
匂いがするよ

4月6日

～大変！香水がへんなにおいになっちゃった！～

(4月14日)



～本物の香水はどうしてくさくならないの？～  
(4月15日)

話し合い

「図書館で調べる」

「お家の人に聞いてみる」

「もう一度作ってみる」

「香水やさんに聞いてみる」

「香水やさんはどこにあるの？」

↓

家庭で聞いてくる



～香水屋さんに聞いてみたい！～  
(4月16日)

～香水屋さんに出かけよう！～

(4月24日)





## 質問

- ①僕たちの香水はどうして腐ったのですか？
- ②本物の香水は何から出来ていますか？
- ③私たちの腐った香水は直りますか？
- ④なんの香水がありますか？



アルコールが必要

～本物の香水を作りたい！アルコールを手に入れよう～

(5月1日～)



無水エタノールって？



～お家の人の力を借りて、香水作りに挑戦

ハーバルエッセンス作り ～ （5月12日）



～「匂い」から その背景に興味を持つ～

(6月13日)



「海みたいなさわやかな匂い」

「おいしそうな匂い」「臭い」「変な匂い」

「ハエが好きな匂い」



保育をデザインするため  
に積み重ねてきたもの

キーワードは「対話」

研修や保育を高める取り組み

# ①保育の理念・哲学の共有



リーダーの役割  
未来を見て哲学を生み出す  
言葉にする  
多様性を認める社会





毎月行う定例法人研修  
その時々課題を園長会でも出し合い  
即時性を持ったテーマを扱う。  
Skypeを活用しながら、一体感、共有感を  
大切にしている。



「法人は大きな一つの園である」



## 「クラス単位の会議」

他園の保育士同士で助言をし合う  
Skypeの活用

各年齢毎の課題を、  
同法人内の園とを繋ぎながら  
意見を交わす。

対話が常にキーワードである

## 定例法人研修

五感を大切にするため、保育士も素材の研究をワークショップを中心としながら行っていく。



## ②記録(写真・文章)

- 子どもの声に耳を傾ける
- 子どもの内面を探る手がかり。今を知る。
- 応答的関係を築く → 保育の基本



### ③保育士同士の対話 Web



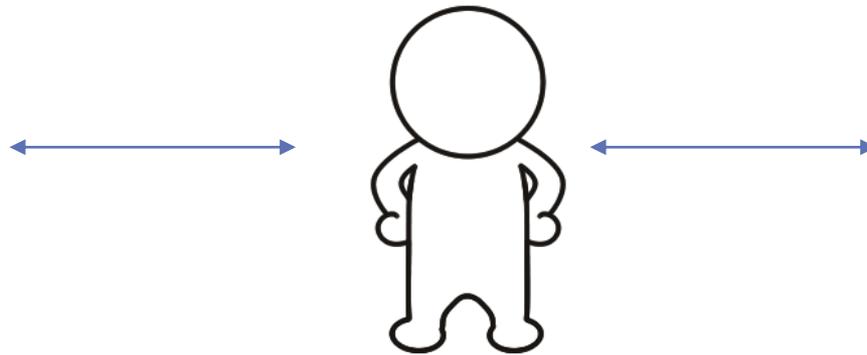
「社会・生活・自然」との関わりの中で、  
「自己との対話」を通して成長する。

五感(六感)

表現

Input

- ・視覚
- ・聴覚
- ・嗅覚
- ・味覚
- ・触覚



Output

- ・モノ(絵画・造形等)
- ・音
- ・身体
- ・言葉

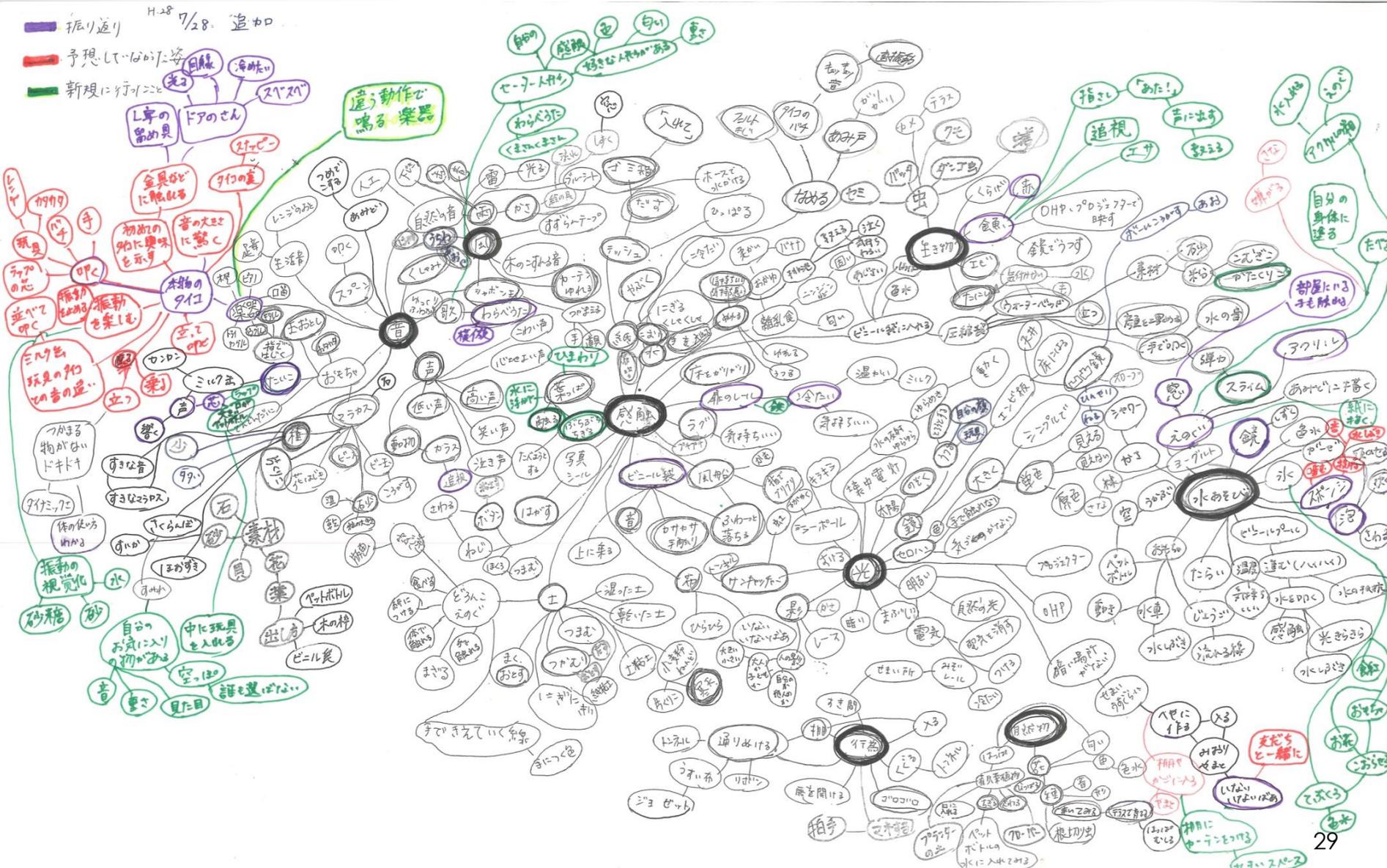
# モノとの対話 乳児の実践から 「子どもたちの姿から見えてきたこと」

## 子どもの興味・関心を話し合う

- **音** 扉の開閉音・生活音・くしゃみ・歌・声(高い、低い)・カラスの声・スプーンで机を叩く・網戸ガリガリ・雨
- **感触** 洋服のボタン・棚のねじ・ドアのレール・ほくろ・もこもこのラグ・床を爪で引っ搔く、指でトントン叩く・ビニール袋・風船を噛む・テラスの土や葉っぱ
- **風** カーテンが風でふわっと揺れる様子
- **温度** おしぼり・ミルク・ドアのレール(ひんやり冷たい)・水
- **鏡** 玩具が映って取ろうとする・スプーンに映った自分の姿
- **行為** めくる・つまむ・開く・玩具の写真をはがす
- **棚** 通り抜けたい、入りたい・隙間(狭い場所)が好きetc...

# WEBの作成

複数の保育士が多面的に語り合い、地図を描く  
 (保育をデザインする)  
 環境構成、個別の対応言葉かけを考える(計画)



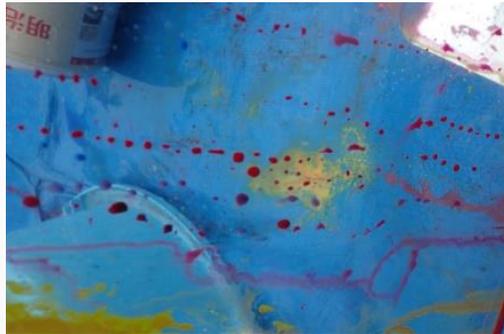
# 環境や日常の中に落とし込んでいく

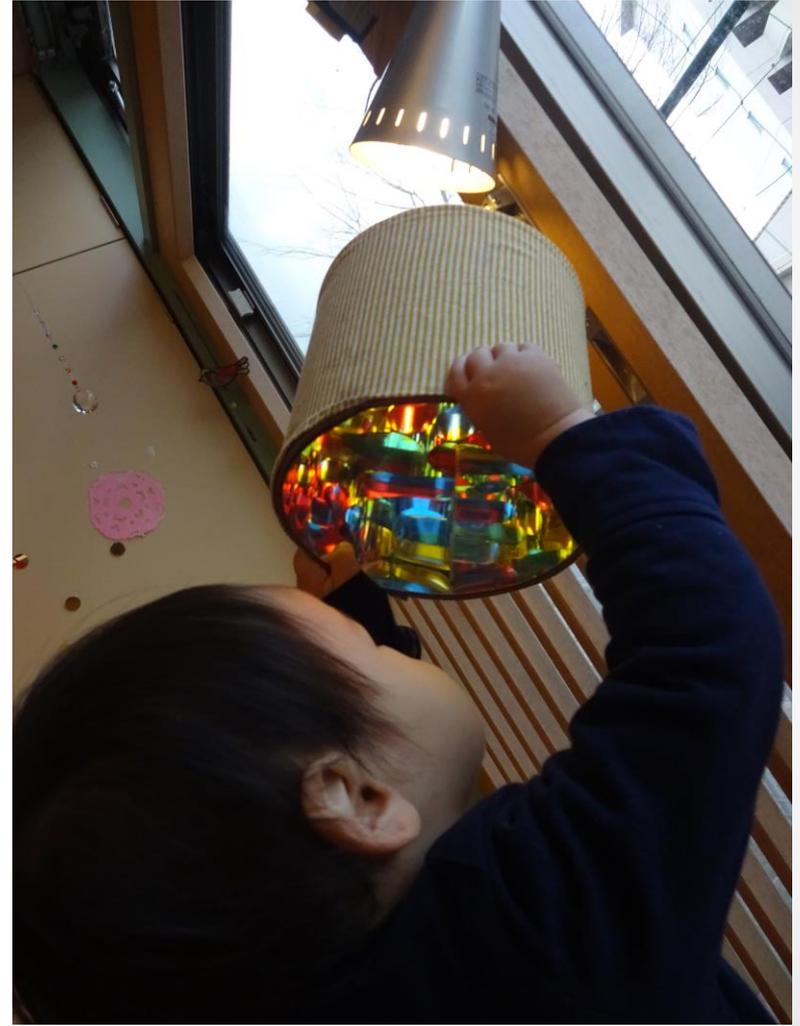


# 様々な素材に触れる



# 雨の日 音と色の世界







# ④ドキュメンテーション ポートフォリオ

保育者の振り返りと語り合い  
保護者をつなぐ鍵

# 信号の音ってどんな音?! 2008.11.26(水)

横断歩道を渡る時、目の不自由な人はどうやって車が来ていないか分かるんだろう? そんな疑問が浮かび上がり、信号で音がしてよ! という意見に興味を持った10人の子が、実際に信号の音を聞きに行ってみることにしました。「米子駅の近くで聞いたことある!」という意見に、米子駅近くまで行ってみることにしました。遊歩道を通って行ったのですが、途中の信号機にも注目し、「ここはたしか聞こえんよな」と、言いながら、信号の音に耳を澄まして渡っていた子ども達です。「やっぱり聞こえんかった!」と、ちょっと残念そうなるかちゃんでした。コンベンションの前まで来ると、「長い点字ブロックだ!」と、あいかちゃん。点字ブロックを辿って付いた先は、サティの信号機の前です。「ここは聞こえるかな?」と、青信号になるのを待っていると、「ピボ…」と、音が聞こえてきました。「どこから聞こえてくるんだろう?」と、音のする方を探し始めた子ども達、するとるかちゃんが「信号機の所に黄色いものがある! ここじゃない?」と、指さして教えてくれました。近くの信号機を見ると、全部に黄色い拡声機のようなものが付いていました。「これだ!」と、耳を澄まして聞いていました。「早く録音しよう!」と、園で待ってる友達にも聞かせてあげたい! と、持って行った録音機で録音しました。静かに録音機を信号の方に向けて録音し、音が鳴り終わると、ホッとした表情のともかちゃん。「録れたか聞きたい!」と、確認してみることにしました。なかなか上手くいかず、3回目の録音でようやく音が録れました。その瞬間「やったー!」と、大喜びの子ども達、大きな責任が果たせたと、大満足の様子でした。すっかり信号機の音を覚えてしまい、帰りは「ピボ…」と、信号の音の大合唱で帰りました。「早く聞かせてあげたい!」と、楽しみにしています。



録れるかな?



帰りに通った横断歩道の信号機は音が鳴りませんでした。「黄色いのが付いてないけんじじゃない?」とるかちゃん。横断歩道によって音が鳴るものとならない物があることが分かりました。

録音大成功!!

保木本かずきかずき君は、家から持ってきたカメラを分解していました。ネジを一つひとつ丁寧にはずしていくかずき君です。ネジに基盤、レンズやコードなど、分解していくと様々な部品に分かれます。ネジを外せば外すほど細かく分解され、「こんなにあった!」と、バラバラに出来たことで満足感いっぱいようです。カメラ一つにしても沢山の部品で出来ているんですね!



## ~カメラの分解~



# カメラ屋さんに行ってきました!

# NO. 2

先週と昨日撮影したフィルムを持って、サティのカメラ屋さんに行きました。「ここであつとるよな!」と、ちょっとドキドキしながら「お願いします!」と、渡していただいたと君と保木本かずき君です。現像してもらったフィルムはまた後日、もらいに行こうと思います。どんな写真が撮れているのか楽しみですわね!



お願いします!



色々な種類のフィルムがありました。

## ~編み物をしています~

昨日から編み物をしています。初めて見る指編みに興味津々の年少さんです。「やってみよう!」と、初挑戦したのはかい君とまこちゃんです。まずは2本指から始めました。始めは保育士と一緒にゆっくり作り始めました。コツを掴んできた二人は、自分で少しずつできるようになり、少し長くなってきては嬉しそうに「こんなに長くなった!」と、喜んでいました。かい君は黙々と編んで、いつの間にか首に巻けるくらい長さになっていました。完成が楽しみですわね!



完成しました!



綺麗な模様が出来たよ!



# ⑤子どもとの語り合い、情報共有

個別

全体は朝夕2回



⑥地域との関わり  
シチズンシップ  
市民としての子ども

保護者・地域との関わり  
文化の中で育てる



# 保護者との協同

子どもの興味を活かすため  
保護者も特技、趣味を活かし合う

子どもの興味を活かすため  
保護者も特技、趣味を活かし合う

## 【当法人としての課題】

○「対話」の中からより良い実践が生み出されていく  
そのため、対話を生み出す時間と人的確保が課題。

○年々、書類が増えていく。求められていく。

書類の合理化

書類作成の時間

例：8時間労働の内、7時間は子どもと向き合う。

残りの1時間に、記録等の事務作業

そのための、人的確保、書類の合理化、簡素化

○方法論・How to にならないように、哲学・理念・方向性を考える。理念を文書だけの形骸化しない。

○語り合う文化の醸成（法人も保育士も保護者も保育を語る）